

バングラデシュ医療宣教師 近藤 恵

ゆうこさんに会いました

先日、16年ぶりにゆうこさんに会いました。ゆうこさんと初めて会ったのは2002年8月、バングラデシュで働いているゆうこさんと相棒のるみ子さんを訪ねるツアーに参加した時のことです。この旅から帰る飛行機の中で「もしあなたが望まれるなら、私をバングラデシュに戻してください」と祈ったのでした。そして2度目は、2007年の8月。この年の4月からLMI世界宣教会の医療宣教師として歩み始めていた私が、働く可能性を探るためにバングラデシュに行った時、その頃はすでに引退していたゆうこさんがわざわざバングラデシュに来てくれて、私を案内してくれたのです。この時、ダッカからディナジプールにあるLAMBホスピタルに行くため、でこぼこ道を走る車の中、私たちは7時間しゃべり続けました。基本的に私は無口です。子どもの頃から、そして37歳で受洗してからも人と楽しくおしゃべりするという能力には欠けていました。なので、会ったのは2度目でしかないという人と7時間ぶっ続けでしゃべり続けるというのは、かなり普通ではないことです。

そして今回3度目、私たちは5時間ぶっ続けでしゃべり続けました。ゆうこさんも、私も16年前に会ったあと、さまざまな困難がありました。「でも、これでよかったんだよね」と確認し合ったのでした。これからも困難はあることでしょう。でも私が宣教師として歩み始めた頃、ゆうこさんが、贈ってくれた賛美歌～主が私の手をとってくださいませ♪～を歌いつつ、またそれぞれの道を歩んでいくのだと思います。

【祈りの課題】

- バングラデシュのビザの取得のために。
- ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルのドクター・ルーシーとドクター・タポシュのために。
- 母と姉の救いのために。



ゆうこさん(左)と近藤師(昨年11月、横浜市で)

Dr. Tからの表彰状

数か月前、Dr. Tからメールがありました。Dr. Tはバングラデシュのジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルと一緒に働いていたイスラム教徒のドクターで、性格の良い働きものです。病院を3か月前にやめたのだけれど、日本で働けるところはありますか？という問い合わせでした。日本も、外国からの医者たちを受け入れていこうという動きはあるようです。でもその道は現時点では、易しいものではありません。見学だったらできるかもというメールを出しました。その返事として、ランプールというバングラデシュの北西部の病院で外科医として就職できたこと、たくさんの症例を経験することができ、貧しい人たちに仕えることができると知らせてくれました。それと同時に、「先生は、僕が会った中で一番親切な人です。先生は、僕のロールモデルです」と書いてくれました。もちろんお世辞は入っているでしょう。でも、素直に表彰状をもらったかのようにうれしく思いました。私がバングラデシュで働いていた意味も少しはあったということなのだと考えています。

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

e-mail:meg0_02007@yahoo.co.jp

【現地】 Garo Baptist Convention
Christian Health Project
Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260
Mymensingh, BANGLADESH



兵藤 陽子
LMI世界宣教会協力理事

“火を噴く山”に熱い祈り

南ドイツ
訪 問

昨年10月中旬に夏休みをいただいて、近藤恵宣教師と共に南ドイツを訪問してきました。目的は、退職された宣教師の先生方に会うこと、LMI本部を訪問して祈っていただいている場に身を置くことでした。その間、オッケルト先生ご夫妻宅に滞在させていただきました。

日曜日はLMI本部で持たれている礼拝に連れて行っていただきました。“火を噴く山”には祈りが満ちていると感じました。懐かしい方々にもたくさんお目にかかることができました。

滞在中は何の心配もありませんでした。小さなものをVIPのように扱い、もてなしてくださいました。なだらかな丘が続き、トウモロコシ畑、ひまわり畑、肥料として蒔かれたからし菜(?)の畑、ブドウ畑が連なっています。ところどころにリンゴの木がぼつんぼつんと立っています。ちょっと歩くと林があり、クルミの木が何本も植わっていて、落ちている実をたくさん拾うことができました。町々には、人口が少なくても、カトリックとプロテスタント両方の教会堂が必ずと言っ

てよいほど建っていました。

ああ、宣教師の方々は、こんなに美しくて豊かな所を去って、家族やなじみ深い文化を離れて、戦いの多い宣教地に行ってください、また、日本にも来て仕えてくださっているのだなあとしみじみ思いました。

ドイツに帰国後、病を得られて闘病している先生方もおられます。皆様による祈り、また電話・メール・手紙等で近況をお伝えできたら励ましになるのではないかと思います。神の恵みによって出会い、キリストの血によって家族としていただいたお互いです。その交わりの温かさに感謝しつつ、つながり続けていければと願うものです。(茅ヶ崎聖契キリスト教会牧師、元モンゴル宣教師)



お元気なオッケルト先生ご夫妻ら(左端は近藤師。昨年10月、フロイデンシュタットで)＝兵藤師撮影



世界的パートナーシップ

トーマス・ベック
リーベンゼラ宣教団日本代表

2023年11月2日に、東北学院大学(仙台市)(注1)の吉田信教授(新約聖書・聖書翻訳)が、ドイツのパート・リーベンゼラにある国際宣教大学(IHL)(注2)を訪問しました。

東北学院大学とリーベンゼラ国際宣教大学は、昨年から新たなパートナーシップに合意しました。講師陣

とのミーティングに加え、2つの講義もプログラムに含まれていました。吉田教授は、この講義で「神」という言葉を日本語と日本文化に翻訳することの難しさについて語りました。これは、学術的な神学だけでなく、日本文化で「福音を語る」ことを望むキリスト教会や宣教師が直面する課題でもあります。

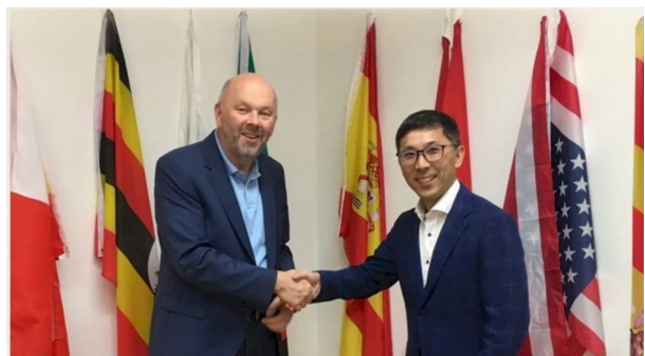
「IHLの学生たちは素晴らしい！」

と講義を終えた吉田教授は語りました。2024年から、IHLと東北学院大学との新しいパートナーシップは、講師と学生の交換プログラムを通じて拡大

される予定です。

(注1) 1986年(明治19年)開校の仙台神学校が前身。初代学院長は、米国人宣教師ホーイとともに日本初のプロテスタント教会「日本基督公会」を創設した押川方義。

(注2) リーベンゼラ・インターナショナルが運営する大学。ドイツ国内外の宣教奉仕者などを養成している。



IHLのV.ゲックレ学長と握手をする吉田教授(右)

New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

X'masゴスペルコンサート

9月28日から毎週教会で練習を積んできた、大人37名、子ども41名のメンバーたちが、12月9日(土)のクリスマスコンサートで賛美の歌声を響かせました。当日は出演者以外に約250名の入場者があり、最後までステージと会場が一体となって盛り上がりました。毎回の練習とコンサート当日に語られた福音のメッセージがやがてさまざまな形で成長し実を結んでいくことができますように。

⑥ 盛り上がったクリスマス
ゴスペルコンサート
⑦ コ
ンサート終了後の記念撮影



【祈りの課題】

- 秋のゴスペルワークショップとコンサートにメンバーとして参加した方と聴衆として入場された方、親子クリスマス会に参加された方にまかれた福音の種が成長し、実を結ぶように。
- 井上幸子さんの体調が回復し、元気に日本で過ごすことができるように。
- 日本で療養中の笹川由利子師の守りと癒やしのために。
- 宣教活動継続のため経済的必要性が満たされるように。

多くの子ども、大人が集った親子クリスマス会



親子クリスマス会

例年「子どもクリスマス会」として開催してきた集会を、今年は親子で楽しめるウェルカム礼拝という形で、12月17日(日)に行いました。ゴスペルメンバーも多く加わり、子ども37名、大人14名のゲストが参加して恵みのときが持たれました。奉仕できる教会員の数が少ない中、5名の高校生ボランティアが初めて教会の活動のお手伝いをしてくれました。今回参加したゲストもボランティアのメンバーも、今後ますます教会とのつながりが深められますように。



親子クリスマス会の中で行われた礼拝の様子

98歳の教会員、無事帰国

グリニッチ福音キリスト教会の時代から長年教会員として交わりを共にしてきた井上幸子姉(98歳)が、今年8月にアメリカ人のご主人を天に送られた後、このたび12月に日本に帰国されました。帰国直前に食欲が低下し衰弱が進みましたが何とか守られました。日本で再び元気な状態で主の平安のうちに過ごすことができますように。

笹川雅弘宣教師を支える会 (かもい聖書教会)
電話：045-931-3312
Mail: kimikuma1126@gmail.com
HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>

LMJ 総会

LMI世界宣教会(LMJ)の総会が下記の通り行われます。リーベンゼラの世界宣教の働きに祈りと関心を持ってくださる方であればどなたでもご参加いただけます。ZOOMでの出席も可能です。ZOOM参加を希望される方は、以下の情報からお入りいただくか、LMJ@outlook.jpにメールでご連絡いただけましたら入口の情報をお送りします。

記

日時:2024年2月17日 (土)
13:30~15:00

場所:JECAかもい聖書教会
(ZOOM併用)

議題:2023年度活動報告
2023年度決算
2024年度活動案、予算案など

▼ZOOM入口



ミーティングID:829 8020 2367
パスコード:093683

笹川師へのオンライン献金

本郷台キリスト教会のご協力をいただき、NY邦人宣教の働きへのオンライン献金ができるようになりました。本郷台キリスト教会のホームページの「献金する」の画面から説明に従って献金することができます。その際必ず「笹川師支援」と指示追加ください。※PayPalアカウントが必要です。



◀本郷台キリスト教会献金ページ

会計担当からごあいさつ

2023年度も主の豊かな守りと祝福によって無事終えることができましたことを心から感謝しています。また、多くのささげ物により、必要も満たされ、支援者の方々の祈りとささげ物に心から感謝いたします。理事会の願いは、派遣されている宣教師が、経済的な心配をすることなく、自分の働きに専念できる環境を整えていくことです。そのためにも、円安や物価高騰の影響が懸念されている状況の中で、皆様方の変らないお祈りとささげ物を新年度も賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。(村上正道)

理事会便り

★毎月第一金曜日行われている「LMJ祈禱会」に是非ご参加ください！お問い合わせは事務局まで。
★近藤恵医療宣教師は2月にバン格拉デシュに向かう予定。引き続き、みこころならばN-ビザが与えられるように、ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルの必要のためにお祈りください。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻の働きのために。由利子宣教師の療養と癒やしのため。単身赴任中の雅弘宣教師の働きのため。グリーンカード取得のため。たんぽぽミニストリーの祝福のため。円安が続く中、経済的・人的な必要が満たされるためにも続けてお祈りください。
★各宣教師を送り出すそれぞれの支える会、また理事会の働きが、宣教師を正しくサポートするために用いられますように。宣教師志願者が起

こされた時の十分な備え。

★JOMAなどの他団体との働きが祝福されますように。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。ともに祈りましょう。

【祈り】「まず神の国と神の義を求めなさい。」主が必要を備えてくださることを信じ、力強く宣教のみわざが進められますように。

(田辺証夫・LMI世界宣教会理事長)

LMI世界宣教会 (LMJ)

(LMJ 本部& 会計事務局) ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かもい聖書教会気付) ☎&Fax 045-931-3312

e-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/>(ドイツ語), www.liebenzell.ca/(英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」

[常任理事] 田辺証夫(理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com) 熊久保公義(副理事長&書記) 村上正道(会計)

トーマス・ベック(LMI担当) 小倉 泉(Bg) 立石聖美 [協力理事] 木島正敏 兵藤陽子 立石尚志 小堀日出春(Voice編集)

[監事] 榎田信、野村卓一 [会計事務] 安藤真里 佐藤かおり